

安曇野民報 ほりがね

第 1 号

2018年4月20日発行

安曇野民報ほりがね発行所

安曇野市堀金三田1160

TEL・FAX 73-4465

日本共産党の見解をお伝えします。
ご意見等をお寄せください。



12月議会

12月・3月議会を終えて

臼井泰彦

昨年10月15日の選挙から、早半年が過ぎてしまいました。1891票に込められた熱く切なる思いを少しでも生かそうと、多くの方から話を聞き、学び、議会で活動してきました。

市政を変えてほしい！暮らしやすい市にしてほしい！住みたくあるような街にしてほしい。〇〇〇を何とかしてほしい！・・・とても簡単に応えられない、大きな難しい問題がたくさんあります。

一つ一つの問題について、市役所の窓口で担当者から説明を聞き、その道の専門の方から話を聞き、先輩議員から話を聞き、研修会に参加して学習する。実際に歩いて自分の目で確かめ、踏査し、書籍やネットから情報を得る。こうしたことを積み重ねて、議会での一般質問や意見を考えました。

議会活動については、日本共産党安曇野市議団ニュース(1月20日発行および4月20日発行)や広報の議会だよりだけでは十分伝えきれないところもここで報告できればと思います。どうか厳しいご批判とともに、ご意見、ご要望をお寄せいただきたいと思います。

市議会12月定例会は、11月22日から12月19日の28日間の日程で開催されました。日本共産党安曇野市議団は、市民のいのちと暮らしを守る立場から審議に参加し、臼井泰彦議員も初めての一般質問をしました。

議員提出議案の「核兵器禁止条約への参加を求める意見書」が全会一致で採択されました。

また「介護従事者の勤務環境及び処遇改善の実現を求める陳情書」が全会一致で採択されました。

臼井議員の一般質問

防犯灯の設置 通学路を優先 できないか？

問 中学校の通学路を優先して、防犯灯を設置できないか。

市 市の防犯灯設置要綱では、「市長は犯罪、事故等が発生するおそれがある場合、独自に防犯灯を



条例案に意見を述べる臼井議員

設置することができるとなっている。昨年度全市で91基設置した内、一部を調査したところ、「通学路を優先して、後回しにしてもいい」と区長に理解してもらえなかった。防犯灯が何基もあった。

日本国憲法前文では「全世界の国民が恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」とうたい、市平和都市宣言でも「全ての不安や争いをなくすために私たちは行動します。」とうたっている。市長に「中学校の通学路を優先」すると判断してほしい。

市長 中学校の通学路における防犯灯の設置は重要である。

国井議員の一般質問

獣害防止電気柵等で市民が守られている

問 有害獣対策について、三郷南小倉から堀金

岩原にかけて、地元の労力により獣害防護電気柵が設置され、大きな成果を上げている。しかし、猿が開口部より里に入ってしまう。有効な対策を伺う。

市長 電気柵による大型獣の侵入防止には大変効果が上がっている。

設置後の維持管理に地元を支援していきたい。

問 電気柵とともに猟友会による駆除、モンキードッグによる追い払い、さらに里山整備により山と里との間に大きな緩衝



山麓地域の区民が設置・管理する電気柵。3月の湿雪による倒木被害は、甚大だった。

帯を設け、猿を山で生きていけるようにする総合的な施策、市民の安全・安心を守る決意を持って、県や国を挙げて取り組むことが必要である。

まず、電気柵がなければ、豊科の中心部までも大型の野生動物が侵入してくる。堀金地域では、田多井区と岩原区の区民が何日も労力を注いで電気柵を設置し、その後電気柵周

辺の草刈り、除草剤散布、木の枝が落ちたりして電気柵が破損していないかどうかなどの点検を月一、二回行い、電気柵の維持管理をしている。この労苦に対して相応の支援をするのは市として当然と考える。1m当たり20円で済ますような問題ではない。

農林部長 基本的には受益者の農家の皆さんの負担であり、そこを補助している。引き続き支援していくが、増額は検討していない。

問 受益者は農家だけでなく多くの市民ではないか。

農林部長 確かに農家だけではない。

問 モンキードッグの飼いは、必要な講習も受け、猿の通りの見回りやえさの仕掛け、猟友会等の連絡等もやり、ほぼ毎日1、2時間、仕事の合間を縫って自主的に見回りをしている。手厚い支援をすべきではないか。

農林部長 モンキードッグ事業の市の支援は妥当であり、引き続き支援をしていく。

問 車の維持費や燃料代も大変である。この方がいいなかったら街に下りてきた猿を多くの警察官や消防署員、消防団員が追い回すことになる。

また、猿が山で過ごせるように、里山再生による緩衝帯づくりをし、そこに市民の力を活用することはできないか。

農林部長 さとふる学校



檻の管理もボランティアでされている

『あづみん』の改善巡回バスの運行を

問 予約を取りやすくするためのシステムの採用、乗り継ぎ割引制度の導入、「あづみん」のサービス向上について伺う。

また、巡回バスや路線バスの必要性と、運行準備のために多くの市民の知恵を借りていくことについて伺う。



公共交通をより使いやすくするために声を上げましょう。

市長 費用対効果、利用者の動向等を精査し、慎重に検討する。

政策部長 予約を取りやすくするためにオペレーターとドライバーの連携強化を図りたい。

あづみんの総運行経費が2年連続で1億円を超え、運賃収入を除いた歳入の内、補助金の増額は見込めず、市一般会計からの支出増を危惧している状況で、料金の割引は非常に困難である。

あづみんのドライバーによる、利用者の乗降時の介助は、状況に応じて判断する。ドライバーの挨拶等は徹底したい。循環型バスを直ちに導入することは困難だが、引き続き研究していく。

(↓左ページ下2段へ)

3月議会

白井議員の一般質問

「あづみん」の運行見直しで利便性は高まるのか

問 「あづみん」の運行見直しにより利便性は高まるのか。

政策部長 堀金地域の車両1台を穂高地域に回すことで、予約しにくい状況が緩和される。堀金地域の車両を定員12人の車両に変更する。

問 堀金地域では1時間1本の運行となり、待ち時間の予測がしにくくなること、大系線下り豊科着4時20分頃の利用者が4時便に乘れなくなる可能性があること、敷地の

3月定例議会は、2月19日から3月19日まで開かれ、30年度一般会計予算案など52の議案と3つの陳情が審議されました。市民のくらしを守る視点から審議に臨みました。

境界と、堀金と穂高の境界が一致している医療機関に行くのに、乗り継ぎ料金往復600円がかかること、堀金地域で利用者減となった場合の対応について伺う。

政策部長 待ち時間を解消するため、スマホ等に車両の位置を連絡できるシステムの導入を検討したい。大系線利用者の個別事案に対しては誠意を持って対応する。（境界線に接した機関への飛び地運行に対する乗り継ぎ料金と、堀金地域の利用者減については答弁なし）

問 公共交通の運行形態や技術の発展、階層別の今後の需要増等を予想



し、新設の公共交通政策係と複数部署の連携した研究が必要ではないか。

市長 交通政策係を中心に、技術革新、先進地事例の情報把握、将来的なニーズの予測をしつつ、関係部署、事業者と連携を密にして、多様な交通システムの研究を進めたい。

提案 利用者減の原因を考えた対応、すいている時間帯の周知、大系線西側に新たな定時定路線をつくり、地域で税金投入を意識して利用を促す改革、自動運転化の展望、スマホ利用の予約、迎いの車の接近を知らせる機能、福祉との迅速な連携等を提案をしたい。

学校給食 食材は市内産を

問 学校給食の地産地消について、地元産物の使用率について伺う。

教育部長 副食材の発注は、安曇野産、県内産、国内産の順で行っている。米は全量。副食材の使用率は、金額で7%。野菜、果物等26%。タマネギ4割、ナガネギ5割、豚肉はほぼ全量。加工品もできるだけ市内から調達。味噌は市内農産物直売所や市内醸造業者。ニジマスなど安曇野特産を利用等、努力している。毎月19日を地元産食材を取り入れた安曇野の日献立を実施している。

問 食教育、農家や事業所を元気にすることにつながる。地震など非常時に市民の食を守ることにどう考えるか。

教育部長 JA等の提案を受け献立に反映したい。

農林部長 中間組織との情報交換の場づくりをしていきたい。

2月議会

白井議員の一般質問

歩道整備は命に係わる人権問題

問 交通量が多く、歩道のない通学路で毎日子どもたちが危険を感じながら登下校している。保護者は交通安全を呼びかけ、無事を祈るだけ。スビードの出る鉄の大きな塊と生身の人間が同じ平面で移動している現実

は、弾が飛び交う戦場にも等しい、命にかかわる人権問題だ。歩道の整備が最低限の条件だ。

市長 所信表明でも、歩行者に優しい道路環境づくりを目指し、交通安全施設の設置により歩行者等の安全確保を推進するとした。道路整備計画には県道60区間、市道33区間が挙がっている。直ぐにでも整備すべきだ。特



歩道のない県道を登校する小学生

に交通量の多い県道の歩道整備について伺う。

都市建設部長 道県管理の道路180・6キロの内歩道設置済みの延長は86・5キロ。整備率は約48%。

歩行者の安心・安全に寄与する歩道整備の促進に努めたい。

農業委員会条例改正案に反対する

条例案は、農業者が軽視され、農業委員会の役割が農地利用の最適化に重点が置かれ、農業委員が農業者の代表でなくてもよくなり、農地の荒廃と多面的機能の破壊につながる恐れがあるとして、白井議員は反対討論を行いました。しかし、条例案は可決されました。

3月議会

白井議員の一般質問

道路反射鏡は曇らないものを

問 道路反射鏡は、霜で曇らない型（防曇型ぼうどんがた）を優先的に設置することになっている。28年度に防曇型でない反射鏡が設置された理由は何か。

都市建設部長 平成22年度以降、防曇型が基本である。陽が当たり、曇りのおそれが低い場所は、通常型もある。防曇型は重いので安全を考えて通常の場面もある。

問 「陽が当たり、曇りのおそれが低い」という基準は、霜が融けるまでは反射鏡の用をなさないので、まずいのではないか。私の調査では、新設・更新の47面中16面が防曇型でなく、内10面が曇っていた（1月14日）。

また、既存の支柱を利用した8面中4面が防曇型でなく、内1面は簡単に倒れない電柱に設置されていた。説明されたい。

都市建設部長 更新の際、防曇型は、既存の柱、基礎をやりかえなければならず、採用できないケースがある。電柱の部分

介護地域住民の自発的サービス計画に

（居宅介護支援の基準条例案では「居宅サービス計画（以下居宅S）」に地域住民による自発的なサービス（以下自発S）の利用も位置付ける努力義務を負わせています。自発Sは、地域の方々の善意と奉仕によるもので、その内容は不安定、不定期で、安全性、責任の問題もあり、介護支援専門員がそれを正確に評価することは、大きな負担であり、制度を歪めます。

は、強度的なものを確認できないので答えられない。交通安全施設整備事業（防護柵、ガードレール、路面の外側線等。反射鏡は3割を占める）の中で、高価な物で数を少なくより、安価な物で安全度を高める対応をしている。

※「『陽が当たって曇りのおそれが低い』の基準はまずい」については答弁なし。強度については精査が必要。

また「居宅Sに厚労大臣が定める回数以上の訪問介護を位置づける場合は、理由を記載した計画を市町村に届け出なければならぬ」としています。利用者には認知症があるとか、家族が仕事や要介護



状態では支援できない等の理由があつて、月90回以上のサービスを受ける必要がある場合も多く、利用回数の抑制につながる

環境委員会 消防団員の配偶者の公務災害補償額の引き下げに反対

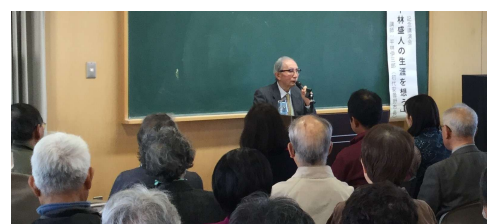
消防団員の公務災害補償額の条例改正案は、配偶者の加算額が引き下げられることにより公務災害補償額が引き下がり、公務員の給与改定による配偶者手当の減額とこれによる配偶者の社会進出を促すというものです。これに連動して、配偶者の公務災害補償額を

偶者の公務災害補償額を引き下げることに合理性があるとは思われないこと、また、既に消防団員の配偶者は社会進出、働いていると考えられることから、白井議員は、配偶者の公務災害補償額の引き下げに反対しました。（条例は可決）

介護保険料の値上げに反対する

条例改正案は、介護保険料を凡そ5・6%、所得によつては10%近く値上げするものです。年金の外に収入を得る手段のない高齢者にとつて暮らしを支える年金が減らされ、来年10月からは消費税が10%に増税予定である中、介護保険料が上げられるのは大きな負担です。（安曇野市は、平成27年度決算で、督促状発行4214件、差し押さえ186件）白井議員は、年金生活者は保険料値上がりで、更につましい生活を強いられるとして、条例改正に反対討論をしました。（条例は可決）

子どもたちにふるさとへの誇りを 議員になって、各種団



県内外30万人の寄付等多くの方の協力で進められた碌山美術館建設運動の柱となった父盛人を語る平林伊三郎さん(4.15)

体の総会などに参加したり、9条改悪反対の署名に回ったりして、多くの方と話をしました。また3月、4月には市立認定こども園の卒園式・入園式、小・中学校の卒業式・入学式で柔らかに語りやぼちやした子どもから、頼もしく義務教育を巣立っていく子どもたちを見ました。改めて、私たち大人が先人がつくってきた郷土の歴史と現在を学び、伝え、受け継ぎ、住みよい故郷をつくるために一生懸命な姿を見せなくては、と思われしました。子どもたちに誇りをもって故郷を背負って